

魚津の若者紹介

YOU

YOUTH OF UOZU

Vol.2

2016 January

未来をつくる若者





子どもから大人まで楽しんでもらえる水族館に！

001

街のシンボル魚津水族館 学芸員

イグシ ユウキ

伊串 祐紀さん (31)

魚津水族館の学芸員で、企画・運営・調査研究に携わっている伊串さんをご紹介します。伊串さんは、地元の水生生物の飼育に重点を置いた特徴ある展示を心がけています。「子どもから大人まで楽しんでもらえる水族館にしたい」と言う伊串さん。

生まれ育ったのは愛知県。小さい時から生き物が好きで、保育園の時から水族館で働くのが夢でした。大学卒業後、1年間、別の水族館での勤務を経て、現在、魚津水族館で学芸員として働いています。「富山を出したい。個性を出したい」と他の水族館との差別化を目指しています。また、児童の自由研究に積極的に協



リュウグウノツカイ

力し、水生生物にもっと興味を持ってもらいたいと活動しています。

「お客さんが喜んでくれる事がやりがい。地域の皆さんと連携し、一緒になって魚津水族館を育てていきたい」と話しています。

魚津水族館の更なる発展に、活躍が期待されます。

※今回、伊串さんには『冬の魚津』をコンセプトに、表紙のイラストを手掛けてもらいました。



身近なところに Happy はある♪



地元魚津・蛇田は落ち着ける場所…と話すヴォーカリスト Chiko(チコ)さんをご紹介します。

Chikoさんのお父様はコンゴ共和国出身のアフリカ人ミュージシャン、お母様は魚津市出身の人形作家です。18歳から歌を習い始め、ピアノは独学！2年ほど前に地元の蛇田へ帰ってきました。昨年3月には初めてのライブをUPEPO(ウペポ)で開催。10月の3回目！ライブは、東京からバンド“じぶこん”を迎えて開催しました。

★2016年はどんな年に…

「自分の世界観のライブをしたい！今まではカバー曲を歌っていたが、自分自身を掘り下げ、自分の言葉で伝えたいと思うようになり、現在、作詞・作曲にも取り組んでいる」とのこと。「今は物があふれ、生活も豊かになっているが、いじめや精神的ストレスに悩んでいる人も多い。少し昔の生活に戻れば、身近なしあわせに気づくことができるのと思う。自分の音楽やライブが、「しあわせってこんな身近にあったんだなあ〜」と気づききっかけになれば嬉しい」と。

002

期待のミュージシャン

チコ
Chikoさん (26)

人と話をするのが好きという Chikoさん。お話しを伺っていると Chikoさんのルーツが見えたような気がしました。

Chikoさんをもっと知りたいと思ったら、次はライブで Chikoさん World を体験してみませんか？

「体験に敵うものはない。By Chiko」今年、初となる「CD」を出したい！とも。楽しみです♪



003

魚津の食を支える 青年農業士

マツモト ケンスケ

松本 謙介さん (30)



歩ずつ着実に進んでいきたい

魚津ブランド「しんきろうトマト」生産者の松本さん取材しました。ご自宅がある 仏田など約 15 ha の田畑に、しんきろうトマトのほか小松菜や米、かぶらを生産しています。小さい頃から手伝っていた農業ですが、工業高校を卒業後に就農されました。農業を選んだ理由は、「何かを作る仕事をしたかったから」とのこと。高校は化学系だったので、農業に関する知識など今の仕事につながっています。

天候に左右されるため休みが取りづらいところがある反面、お客様から「おいしかったよ！」とダイレクトに声が聞けることが嬉しい。と目を輝かせておられるのが印象的でした。趣味はソフトボールで、地元のチームに所属していますが、仕事の都合で最近あまり行けていないとのこと。消防の分団長だったお父さんの影響で、高校卒業後すぐに消防団に入団し、見回りなど地域の活動に積極的に参加されています。

…最後に今後の目標は？そして若い人へのメッセージをお願いします。

「品目を充実していき、お客様が満足できる商品を作りたい。そのためにも失敗を元に、歩ずつ着実に進んでいきたい。農業はしんどいというイメージだけど、お客様のニーズに応えられるものを作ることが楽しいし、うまいくと儲かる仕事になるかもしれない」と、農業への熱意を語ってくれました。



～しんきろうトマト～

酸味が強いので、サラダなど生で食べるのが松本さんのオススメ！6月頃から、市内の一部スーパーでも販売されます。



オオサキ ユウヤ
大崎 悠矢さん
会社員 (29)

004

第 12 回全日本一般男子ソフトボール大会ベスト 8!

北鬼江アゼリアインパルス



期間：2015 年
8月29日～31日
会場：宮崎県宮崎市

インパルス期待の若手、大崎悠矢さんを紹介します。全国大会では7番ライトで出場してベスト8進出に貢献しました。

小学3年生から野球を始め、高校は石川県の野球の名門遊学館高校に進学、投手としてプレーしました。現阪神タイガースの小嶋投手は1学年先輩と一緒に練習に励んだそうです。長年野球をやっていたこともあり、最初はソフトボールに関心がありませんでした。興味をもったきっかけは初出場の試合で思うように打てなかったことです。野球と違いソフトはボールを飛ばすのが難しい。難しいゆえに楽しい。熱中しやすい性格の大崎さんは「究めてやろう」と心に火がついたといひます。ソフト熱が高じた大崎さんは、バッグ、アップ



シューズ、リストバンド、シャツをチームカラーのオレンジに揃えているそうです。ソフト&インパルス愛がうかがえます。

現在は奥さんと娘の3人暮らし。2016年の目標は「全国大会ベスト4」と「家族を今以上に大事にしたい」とのこと。

…最後に奥さんへ一言

「いつもわがまま聞いてくれてありがとう」
ソフトと家族を愛する大崎さん。



005

SHOP 紹介 「green&zakka 10iro」

トイロ

コイズミ アツト
小泉 篤人 さん(35) 岡山県出身



☆ お店を始められた
きっかけを教えてください。☆

岡山県の実家が花屋さんだったので元々花や緑に囲まれて育ったんですが、中学・高校とサッカー一部で、最初から今の様な仕事をするとは思っていませんでした。高校を卒業後、とりあえずやってみようとして東京の花の専門学校に行き、改めて花の素晴らしさを感じました。その時に同じ学校で一緒だったのが今の奥さんです。そして結婚して魚津に来て、このお店を開くことになりました。

☆ 魚津はいかがですか？ ☆

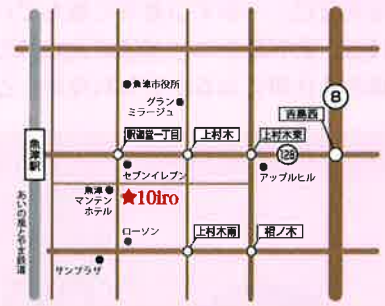
岡山の海は穏やかな内海だったので、初めて日本海を見たときは怖かったです(笑)。あと、山がおっきい！そして山頂に雪がある時は綺麗だなと思います。それに魚が美味しいですね！ブリが大好きです。人も優しく、お客さんも新しく知り合う人もみんな本当にいい人ばかりです！最初の頃は言葉が分からなかったこともありましたが(笑)、今は可愛いと感じています。

☆ 今後はこの仕事を通じてどうなりたいとか目標はありますか？ ☆

観葉植物はけっこう難しいと思われがちですけど、もっとたくさんの人に緑のあるライフスタイルの良さを知って欲しいと思っています。最近立山町にオープンしたモンベルさんの雑貨コーナーにも『10iro』の観葉植物を置かせてもらったりしていますが、2016年もマイペースでコツコツとやって行こうと思います。

住 所：魚津市上村木 187
☎ 0765-22-7522

営業日 11:00 ~ 20:00
(日祝 10:00 ~ 18:00)
定休日 水曜・第2日曜



編集後記

子どもから大人まで楽しんでもらえる水族館にするため、試行錯誤した話を聞き、失敗を恐れずにチャレンジする事が大切だと感じました。(I)

「魚津を自分たちの手で更に盛り上げたい！」この気持ちで、小さな歯車かもしれないが、これからの頑張ります。(T)

大崎悠矢さんは中学時代の後輩でした。昔から輝いていました。(K)

アウトレットも新幹線駅もないけど、がんばろう魚津！(M)

「体験に合うものはない」という話が印象的でした。何気なく過ごしていた一日をもっと大事にしなきゃもつたいたいと感じました。(H)

■ 今年のしんきろう
トマトが今から
楽しみです。
(事務局O)



『YOU』 制作委員 大募集！



4月から取材や編集をしてくれる方を募集します。委員は概ね18歳以上35歳未満の方ですが、取材・編集の経験は不問です。また、こんな面白い方がいるよ！という情報も募集中です。

下記の連絡先まで、お気軽にお問い合わせください。



制作：うおづ屋
石崎 功一、井出 寛子、井口健太郎
高瀬 康太、牧野健太郎、高嶋 真弓

連絡先：魚津市教育委員会 生涯学習・スポーツ課
TEL/0765-23-1045 mail/learning@city.uozu.toyama.jp

2016年1月発行